

作成日: 2020年07月30日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: フッ化バリウム

製品番号(SDS NO): Barium_Fluoride_J-1

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 光学素子基板

供給者情報詳細

供給者: ソーラボジャパン株式会社

住所: 東京都練馬区北町3-6-3

電話番号: 03-6915-7701

FAX: 03-6915-7716

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分 3

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1(心血管系、神経系、筋肉系、腎臓、骨)

(注)記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

飲み込むと有毒

強い眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による心血管系、神経系、筋肉系、腎臓、骨の障害

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別: 単一物質

化学物質

成分名	CAS No.	含有量(%)	化審法番号
フッ化バリウム	7787-32-8	100	1-82

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

結晶そのものは毒物および劇物取締法の”劇物”に該当しますが、窓板やプリズムのようにコーティングを施したりマウントに組み込んだりして、機械の一部として見なされる場合は、法律上は非該当となります。しかし、化学物質としての危険性は変わりませんので、扱いには十分ご注意ください。

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

この製品自体は燃焼しない。

特有の危険有害性

火災等の場合は、毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

粉じんが飛散しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱注意事項

取扱い後はよく手を洗うこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

粉じんを発生させないようにする。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

破損等による影響を防止できる密閉容器に保管すること。直射日光を避け、冷暗所に保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会関連許容濃度データなし

ACGIH 許容濃度データなし

ばく露防止

設備対策

破損する恐れがある使い方をする場合、必ず密閉された装置、機器または局所換気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具

粉じんが発生する場合、必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状：固体(結晶)

色：無色透明

臭い：無臭

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

融点/凝固点：1355°C

比重/密度: 4.89

溶解度

水に対する溶解度：微溶; 170mg/100ml H₂O(23°C)

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

鉱酸と接触すると、ハロゲン化水素のガスが発生する。

混触危険物質

酸、酸化性物質、濃硫酸

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(フッ化バリウム)

rat LD50 = 250 mg/kg (EHC 107、1990)

労働基準法: 疾病化学物質

ハロゲン及びその無機化合物 弗素及びその無機化合物(弗化水素酸を除く。)

局所効果

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(フッ化バリウム)

フッ化物: 眼刺激性 (ACGIH (7th、2001))

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

生殖毒性データなし

催奇形性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(フッ化バリウム) 気道刺激性 (ACGIH (7th、2001))

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(フッ化バリウム) 心血管系、神経系、筋肉系、腎臓、骨(ATSDR (2007)、CICAD 33 (2001)、ACGIH (7th、2001))

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性データなし

残留性・分解性データなし

生体蓄積性データなし

土壤中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

容器、マウントは洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。容器、マウントを廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 : 1564

品名(国連輸送名) :

バリウム化合物、N.O.S. (フッ化バリウム)

国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 6.1

容器等級 : III

指針番号 : 154

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

労働安全衛生法に該当しない。

労働基準法

疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)

弗素及びその無機化合物(弗化水素酸を除く。)

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

届出を要する消防活動阻害物質

危険物の規制に関する政令別表第2第2条:劇物(届出数量 200kg)

ふっ化バリウム

化審法に該当しない。

船舶安全法

毒物類 毒物 分類6 区分6.1

航空法

毒物類 毒物 分類6 区分6.1

土壤汚染対策法

第二種特定有害物質 重金属等

フッ化バリウム

政令番号21:

含有量 ≤ 4000 mg/kg

溶出量 ≤ 0.8 mg/liter

第二溶出量 ≤ 24 mg/liter

地下水 ≤ 0.8 mg/liter

土壤環境 ≤ 0.8 mg/liter

水質汚濁防止法

有害物質

フッ化バリウム

法令番号 25: 海域以外 C 8mg/liter、海域 C 15mg/liter

16. その他の情報

結晶そのものは毒物および劇物取締法の”劇物”に該当しますが、窓板やプリズムのようにコーティングを施したりマウントに組み込んだりして、機械の一部として見なされる場合は、法律上は非該当となります。しかし、化学物質としての危険性は変わりませんので、扱いには十分ご注意ください。

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals、(5th ed.、2013)、UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit.、2013 UN

Classification、labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2016 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2015 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

GESTIS-Stoffdatenbank

Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

職場のあんぜんサイト 安全データシート:フッ化バリウム

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成28年度)です。